

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 29 2012年3月1日 発行



第14回奈良県環境フェアを開催しました！

11月5日(土)、東大寺総合文化センターにて、奈良県・奈良県地球温暖化防止活動推進センター・奈良県環境県民フォーラムの共催で、第14回奈良県環境フェアを開催しました。今年度は、震災や災害で、私たちひとりひとりがライフスタイルの見なおしを迫られている中、楽しみながらエコを学び、これからの暮らし方を皆で考えようという思いから、「震災と復興 ～大和の地より暮らし方を見なおそう～」をテーマとし、様々なイベント等が行われました。

当日の奈良市はあいにくの曇り空でしたが、それを吹き飛ばすような県立奈良朱雀高等学校和太鼓部「和太鼓 秋篠」の皆さんによる力強い演奏で幕を開けました。この演奏会では、「ライトダウン演奏会」と題して舞台照明の電力を自転車で発電する試みがなされ、スタッフや観客などが交代で自転車をこいで発電しました。

このあとの「小中学校環境取組発表会」では、王寺町立王寺小学校、奈良学園中学校科学部生物班、奈良教育大学附属中学校3年生の3組が、授業や部活動を通じて取り組んだ環境保全活動や研究の成果を発表しました。環境に配慮した暮らしの提案などが行われ、熱心な発表に会場からも感心する声が聞かれました。

続いて「奈良の環境家計簿取組者表彰式」が行われ、継続して環境家計簿をつけ、奈良の環境家計簿に登録をしてくださっている個人3名、2団体を奈良県より表彰しました。

午後からはタレントのルー大柴さんを講師に迎え、「もったいない“から暮らし方を見なおそう”」をテーマにセミナーを開催しました。ルーさんは、2007年に「NHK みんなのうた」で歌った「MOTTAINAI」をきっかけにマイ箸マイバッグの使用、富士山の樹海清掃や地域のゴミ拾い活動に参加するなど、環境活動にも積極的に取り組んでおられます。環境フェアでは、清掃活動の様子や絵本の紹介などについて独特のジョークを交えながらお話しいただきました。セミナーの最後には会場全員で「MOTTAINAI」を振りつきで合唱し、和やかな雰囲気とともにセミナーは終了しました。

この他にも、地下1階の展示スペースでは、環境保全に取り組む県内外の団体・企業など27団体が日頃の活動や環境商品の紹介、体験コーナーなどのブースを出展し、来場した方にエコ活動の重要性などについて訴えました。

フォーラム事務局からのお知らせ

平成10年度から14年にわたって開催されてきた環境フェアですが、今年度を以て、終了することとなりました。長年、県の事業として予算を確保してまいりましたが、紀伊半島大水害以降の事業の見直しの中で、環境フェアについては、14年前と比べて環境についての県民意識が高まっていること、同種のイベントが各地で実施されるようになったことから、当初の目的はある程度達成されたと判断し廃止となりました。

フォーラム会員の皆様、出展団体の皆様におかれましては、永きにわたってのご協力ありがとうございました。今後のフォーラムの活動としては、市町村等の環境イベントに出展していく形で継続していく予定です。今後ともご協力をお願いします。

(事務局 酒井、折口)



資源活用分科会



3Rを考える活動

循環型社会の構築には3R(リデュース、リユース、リサイクル)は大切な要素であると考え、自己啓発とともに啓蒙活動を行っています。23年度の後期の主な活動としては、まず環境にやさしい買い物を推進するために「レジ袋削減キャンペーン」を10月18日(火)にイオン榎原店(アルル)において榎原市地球温暖化防止対策地域協議会と共催で実施しました。当日はチラシ、エコバック200個、エコシールを準備して買い物客に配布したところ、興味を持った大勢の人が集まり短時間のうちに終了しました。しかし反面我々のキャンペーンの趣旨が十分伝えられたかどうか反省点が残りました。

第2回エコ見学会として11月22日(火)桜井市クリーンパークを見学しました。75t/日×2炉のガス化溶融炉とリサイクルプラザ、最終処分場、し尿処理施設を併設した総合的な廃棄物の処理・処分施設となっています。



ごみ発電によるエネルギーの利用は図られています。更に焼却後のスラグが有効利用されれば一般の炉に比べコストは高いが、この溶融炉の長所が生かせることになりぜひ実現して欲しいと願います。廃棄された家具、自転車を補修した立派な再生品は市民に人気があり再利用されていることには感心しました。施設は非常にきれいに管理されているので、リサイクルプラザを含めもっと市民が集い有効活用されれば3Rの推進に大いに貢献できるのではないかと感じました。

2～3月の活動として「3R・資源循環セミナーin和歌山」への参加、第3回エコ見学会として民間企業のリサイクル施設の見学、昨年度(22年度)にアンケート調査した結果を取りまとめた「ごみ処理実態調査報告書」の冊子の発行を予定しています。

(奈良環境カウンセラー協会 村山)

自然環境分科会



落ち葉感謝デー

落ち葉感謝デー1日目

1日目は、11月27日、冒険遊び場「ひーとびーとの森」(宇陀市榛原区八滝)で約20人の参加により開催しました。まずゲート近くで自己紹介の後、早速ネイチャーゲーム協会の西さんによるネイチャーゲームが始まりました。まずは宝探しゲーム。3人ひと組みのグループで「まるいもの」「においのあるもの」などカードに書かれた様々な条件の落ち葉などを探して徐々に斜面を登っていきます。3人全員の合意が必要で「これ、まるいと思う?」などあちらこちらで微笑ましいやり取りが。上のアスレチック部分については大人も子どももエキサイトしての「葉っぱのカルタ取り」。そして聴診器を木にあてて、物言わぬものの生命を感じる静寂のひととき。芋煮鍋を堪能した後は、宙塾の黒飛さんによる「森林紙芝居」。そして落ち葉の恵みに感謝しながらの焼き芋で締めくくりました。晩秋に見られる形もさまざまな落ち葉や森が宝物であるとの認識を親子で深めてもらえた1日でした。



(ほっとねっと 寺前)

落ち葉感謝デー2日目



2日目は12月4日、絶好の紅葉日和の等彌神社でお祓いをしていただき、鳥見山を散策し、彩雲ひろばへ下山するコースで、子供17名、大人10名、スタッフ14名の参加で自然体験教室を開催しました。山登りは、子供達の足が速くどんどん登って行くので、随行者はたいへんだったようです。1時間半程で下山し、彩雲ひろばでは、落ち葉のたき火や焼き芋・かまど炊きごはん、菜種油の天ぷら等々、普段子供達が経験したことのない生活体験をし、食後は等彌神社の宮司さんに、この地域の地名の由来についてお話をいただいたり、森の紙しばいで環境の勉強をしたり、ひろばを走りまわったり、山の藤づるでクリスマスリースを作ったり、大人も子供も大満足の落ち葉感謝デーでした。

(さくらい菜の花プロジェクト 西田)

エコライフ分科会は、「水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）」（水環境健全性指標 2009 年版）を用いて、奈良盆地での各河川の【健全性】を調べました。この調査では、800 名を超える県民のご支援・ご協力のもと、53 河川 308 ポイントの調査結果を得ています。調査の目的は、調査を通じて河川への関心を高めていただくことと、調査結果から環境の実像を見る（当たり前と思って気付かないことを知る）ことです。ご協力いただいた皆様のおかげで、その成果は得られたと思います。

【健全性】については、「自然や生物」、「水や水辺」、「川の利用」など5つの分類指標の20項目(①～⑳)を「良い」「普通」「悪い」の三段階で評価しています。

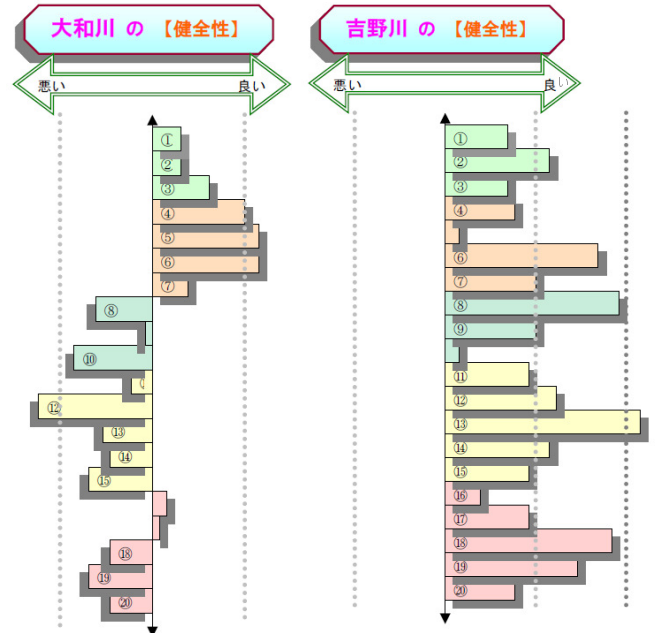
- (1) 自然な姿 ①水の流れは豊かですか ②岸の様子は自然らしいですか ③魚が川をさかのぼれるか
 (2) 豊かな生きもの ④川原と水辺に植物が生えているか ⑤鳥はいますか ⑥魚はいますか ⑦川底に生きものがいますか
 (3) 水のきれいさ ⑧水は透明ですか ⑨水は臭くないですか ⑩水はきれいですか (COD)
 (4) 快適な水辺 ⑪川や周りの景色は美しいですか ⑫ごみが目につきますか ⑬水に触れていたいですか ⑭どんな匂いを感じますか ⑮どんな音が聞こえますか
 (5) 地域とのつながり ⑯川にまつわる話を聞いたことがありますか ⑰水辺には近づきやすいですか ⑱多くの人が利用していますか ⑲農業・漁業・工業・水道などの産業活動 ⑳環境の活動

この指標で、普段は見過ごしているかも知れない多様な視点から川の姿が浮かんできます。調査した 53 河川の【健全性】の平均について、④の『川原と水辺に植物が生えていますか？』と⑨の『水は臭くないですか？』は、「とても良い」ところにランクインしています。一方、⑩の『水はきれいですか？』と⑬の『水に触れていたいですか？』は、「少し悪い」ところにランクインしています。

個々の川では、例えば奈良盆地の代表者『大和川』は、自然の姿はこの平均よりも良いのですが、人々があまり関心を示してお付き合いしていない姿が見えます。これに比べて吉野川を見てください。どれほど地域の人々に親しまれていることか！！

さて、奈良盆地の河川の平均点に比べて、あなたの近くの川は、どのような姿でしょうか。

(奈良環境カウンセラー協会 吉田)



今年もやります！

エコな～らライフ宣言



今年も4月1日より、エコな～らライフ宣言の募集を開始します。

宣言の締切は9月30日。今年も是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信 (0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト (4月1日オープン) から宣言

(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)



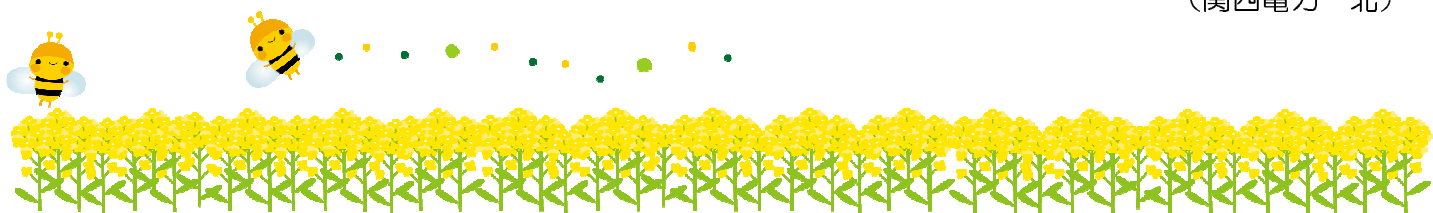
エネルギー分科会 エコな～らライフ宣言 植樹ツアーを実施しました！

去る平成23年11月12日(土)、奈良県立野外活動センターにおいて平成23年度奈良県環境県民フォーラム事業の「植樹バスツアー」を実施しました。この事業は「エコな～らライフ宣言」をしていただいた県民の皆様の宣言総量(CO2削減総量)に応じて植樹を行っているものです。今年度は、10月までに272世帯、20,728な～らの宣言があり、11本の苗木を植樹することとしました。宣言された方々に「植樹バスツアー」をご案内し、応募があった8組22名の方々とともに、貸切バスでJR奈良駅、近鉄奈良駅を出発し、奈良県立野外活動センターに。



野外活動センターでは、奈良県環境県民フォーラムの松村代表のご挨拶の後、スコップやくわを手に植樹を開始。腐葉土を混ぜながら参加者全員で手分けし、楽しく植樹を行ないました。次は、クラフト作りに挑戦。参加者の皆さんは木々の切れ端、松ぼっくり、木の実を巧みに組み合わせ、それぞれ個性豊かな作品を作っていました。昼食では各自が持参した弁当に加え、うどんを作って野外活動センターのスタッフも一緒に全員でいただきました。あったかいうどんは子供さんにも好評で完食となりました。午後からは、もう一つのメイン行事の「バームクーヘン作り」です。ちょっとその前に、炭の火おこしなどの準備が整うまで、野外センターの方のご案内で裏山の自然散策に出発。森の木々の種類などについて詳しく説明いただきました。戻ると準備が整っていて、早速、バームクーヘン作りに。長めの竹串に生地を塗りつけ、炭火にかざしてクルクルと回しながら、焼ければ、また生地を塗って炭火にかざしを繰り返し、オリジナルのバームクーヘンが出来上がりました。味はもちろん最高??秋の一日を楽しく、有意義に過ごすことが出来、参加者からは「また来年も参加したい」とのお声が多く上がっていました。参加された皆さんお疲れさまでした。

(関西電力 北)



平成24年度総会のお知らせ



日時：平成24年4月20日(金) 14:30~15:50

場所：奈良文化会館 集会室A・B

講師：備前グリーンエネルギー株式会社 代表取締役社長 武本 洋一 氏

市民参加により推進する地域エネルギー事業について、事例等の紹介を交えてご講演くださいます。



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

大和の国・菜の花エコプロジェクト

菜の花だより やまとは国のまほろば たたなづく青垣 山ごもれる やまとしうるわし

「美しい自然」「暖かい人のぬくもり」「悠久の歴史」。日本の心の故郷を実感してもらえるプロジェクトを目指して！
皆さんもお近くのフィールドで、国のまほろば(日本で最も優れたところ)と呼ばれるようなまちづくり、人づくりを夢見て
行事への参加やお手伝いをしませんか。



第2回 菜の花交流会

昨年10月6日、恒例の菜の花交流会(天ぷら試食会)を奈良市生涯学習センターにおいて行いました。自然環境分科会所属の5フィールドに加え、ならコープ・葛城市・郡山市元気城下町プロジェクトからゲスト参加者を迎え、それぞれの活動紹介をするとともにお互いの親睦を図ることができました。

また、去る1月30日、今年度2回目の菜の花交流会を奈良市はぐくみセンターで開催しました。前回の8団体に加え、橿原市からもご参加いただきました。今後は菜種油の統一ブランドなど、全体で協力して取り組めることについても、話し合っていきたいと思っております。

奈良フィールド(北永井7a、佐保山7a) NPO 法人宙塾 Email: ohzorajuku@gmail.com FAX: 0742-24-2258

菜の花祭り 佐保山フィールド 4月7日 10:00~12:00 北永井フィールド 4月15日 10:00~14:00



奈良フィールドの特長は、奈良市教育委員会が推進する世界遺産学習と繋がっていることです。奈良市地球温暖化対策地域協議会(通称ならエコ・エコの和NEW)の環境教育プロジェクトの1事業として進めています。

- ・ 2011年7月8日六条幼稚園が薬師寺に菜種油を奉納。10月21日鼓阪北小学校・幼稚園が東大寺へ、2012年1月16日六条幼稚園児と保護者が奈良国立博物館で同館西山部長による講演を聞いた後、大仏さまに歌と菜種油を奉納。
- ・ 六条幼稚園がソニー教育財団・2011年度ソニー幼児教育支援プログラムの優秀園に入選。
- ・ 12月鼓阪北小学校地域コーディネーターが世界遺産学習全国サミットのシンポジウムで発表。
- ・ 12月財団法人こども未来財団・NPO法人ニッポンアクティブライフクラブ主催の子育て支援に関するセミナーで宙塾が事例発表。

菜の花祭り 磯城野高校 5月12日 10:00~12:00

今年はお米の収穫後、ナタネをばら撒きました。間引きもほとんどせず、夏場に水田であった場所で、ある程度は肥料が行き渡っている状態でばら撒きした場合、どのように開花するのか様子を見てみようと思います。お米は、水の中の雑草刈りに手間をかけた、ほとんど無農薬に近い状態で、玄米ごはんがおいしいと好評です。今年も稲作と菜種栽培という大和平野本来の循環で定着させようと思っています。そしてその片隅では葛の他の作物に迷惑のかからない形の量産に向けて数年がかり実験中です。また磯城野高校生が葛をつかった新たなレシピ作りにも挑戦しています。このような1年の取り組みをつなげ、将来的には小さなビジネスモデル構築を目指しています。

天理フィールド(樺本町2a)環境市民ネットワーク天理 事務局長:中島 欣成 電話 090-3487-9556



田井ノ庄町での菜種栽培

NPO 法人「環境市民ネットワーク天理」が菜種栽培を初めて今年で6年目になります。一昨年までは市内竹ノ内町の休耕田を借りて約1アールで菜種を栽培してきましたが、連作障害のために減収状態が続くようになったために、昨年からは樺本町の畑で栽培をしています。今までとほぼ同じ面積での栽培でしたが、昨年の収量は非常に多くて約20kgの豊作!となりました。11月始めにポット苗で植え付けたものを、6月3日に刈り取り、25日に脱穀し、ふるいにかけて菜種は、7月に入ってから県内各地の菜種と一緒に滋賀県愛荘町の工場で搾油し、6.5kgの「純正菜種油」に変わりました。この菜種油は、会員の食卓やイベントなどでおいしい天ぷらを調理する油として使う予定です。天理市内での菜種栽培は2~3カ所で行われているに過ぎませんが、昨年の秋からは新たに田井庄町での栽培が始まりました。天理教旭日大教会の皆さんが約5アールの休耕田で栽培をされています。今後も菜種栽培が広がることを期待しています。

その他のフィールド

桜井フィールド 200a NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト Email: hideko.nishida@gmail.com FAX :0744-41-0317

菜の花祭り 花・花フェスタ in 狛・岩坂 4月8日 11:00~

御所フィールド(蛇穴8a、九品寺 30a)管理:未来の環境を考える会 市環境政策課 TEL:0745-66-1087

菜の花祭り 九品寺フィールド 3月以降お問い合わせください。